

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポート ひだまり		
○保護者評価実施期間	未実施		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 0名
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日 ~ 令和8年2月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	デジタル機器を活用したリハビリテーションを導入し、楽しみながら身体機能や認知機能の向上を図っている。	子どもの発達段階や特性に合わせてプログラムを選択し、成功体験に繋がる支援を行っている。	支援効果の記録と振り返りを行い、個別支援計画と連動させながら活用の幅を広げていく。
2	将来の自立や社会参加を見据えた体験活動を意識、	買い物体験や地域資源の活用など、実生活につながる活動の導入。	地域との連携を強化し、段階的に社会体験の機会を拡充する。

3	保護者が相談しやすい関係づくりを大切にしている。	送迎時や連絡帳等でのこまめな情報共有	定期的な面談やアンケート結果の活用による支援の見直し。
---	--------------------------	--------------------	-----------------------------

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援実績やデータの蓄積がまだ少ない。	開所からの期間が短いため。	日々の支援記録の蓄積と振り返りの徹底。
2	地域や関係機関への周知が十分ではない。	連携体制が構築途中であるため。	学校、相談支援専門員との積極的な情報共有。
3	少人数職員体制の為、業務負担が集中する可能性がある。	支援業務と事務業務が並行するため。	役割分担の明確化と業務効率化の推進。